

多摩ニュータウンの空き施設を団地再生の拠点として改修し、団地再生のプロデューサーを育成することで、多摩ニュータウン全体への波及を目指す。

- 東京の多摩ニュータウンでは、子世帯の転出、親世帯の高齢化が進み、特に初期入居エリアを中心に少子高齢化が進行し、生活利便やコミュニティの維持が求められている。今後は、急速に高齢化が進み、ニュータウン全体で、空き家の増加や近隣センターの空洞化による生活利便の低下が懸念される。
- 本提案は、多摩ニュータウンの2つの団地（松が谷団地、愛宕団地）の空き施設を活用し、団地再生をプロデュースする中心的拠点と、サテライト拠点の整備を行う。
- また、当該事業を通じて、「団地プロデューサー」を育成し、同様の課題を抱える団地や地区に派遣する仕組みを構築し、多摩ニュータウン全体への波及を目指す。

事業概要

代表提案者	一般社団法人コミュニティネットワーク協会
共同提案者	株式会社ソーシャル
事業実施場所	東京都八王子市・多摩市
事業実施内容	施設の改修(2棟、交流施設、障害福祉サービス、食事サービス等)、アンケート調査、利用者QOL調査、セミナー、イベント等
事業実施期間	令和3年1月～令和5年2月

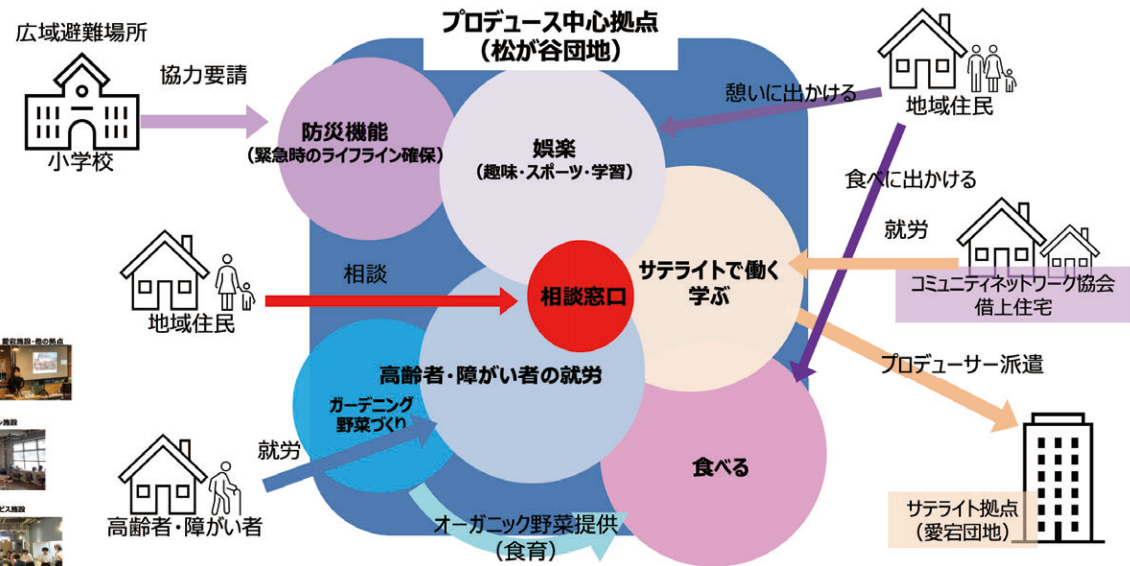
現状(松が谷団地の施設)



改修後イメージ



施設(松が谷団地)の機能・連携イメージ



評価委員会での評価内容

- 代表提案者は、多世代で暮らせる住まいづくりや、空き家活用プロジェクト等の実績があり、事業の実効性の観点から評価できる。
- 本提案は、ニュータウンに限らず、都市に共通して生じる問題に取り組む内容であり、地域を巻き込み、動的に課題解決する取組は、他地域でも波及されることが期待される。